

## これまでの学習とはどんなところが変わるのか

児童生徒全員が一人一台の「i（あい）タブ」を学習に必要な時にはいつでも使えるようになります。

【これまで】タブレットは



- ・学校の保管庫に保管し、学校のみで活用
- ・学校が保有する数十台のタブレットを割り振って活用  
(台数に限りがあるので、同時間帯に限られたクラスしか使えない)



【これから】タブレットは

- 文房具の一つとして、「学校でも」「家庭でも」「学習に必要な時に」活用します。

通常時でも休業期間中も「i（あい）タブ」でつながりながら、学習に取り組みます。



【授業では】今まで以上に

- 「i（あい）タブ」を使ってみんなで考え合い、話し合い、創り合う授業を行います。
- 児童生徒の興味・関心や理解度に応じた個に寄り添った学習指導を行います。

・「i（あい）タブ」を活用し、互いに協力し合いながら課題について考え、学習成果を創り上げることができます。

・知りたいことをどんどん調べ、考え、学ぶことができます。

【家庭では】

- 学校から配布された課題や自ら選択した課題を学習します。
- 課題の提出後、さらに新たな課題に挑戦します。

・苦手な学習にはじっくり、得意な学習はどんどん進み、自分でペースを考えて学ぶことができます。

・予習的な課題に取り組むことで、家庭での学習内容を授業に生かすことができます。

・知りたいことをどんどん調べ、考え、学ぶことができます。



一人一台の「i（あい）タブ」によって、万が一の場合の臨時休業期間中も「オンライン学活や授業」「課題への取組」を行うことが可能になります。

前回の臨時休業期間中に行った、返信用封筒を利用した学習やFMいわぬまを利用した「ラジオ学校」の他、こんなことも可能になります。



- オンライン朝の会で健康観察などを行い、生活リズムを確立します。
- 担任の先生や学級の友達等とのコミュニケーション機会を確保します。
- 目的・目標をもった学習を行います。